

議会だより

行政報告・補正予算

意見書…………… 2～3

町政のそこが聞きたい…………… 4

一般質問…………… 5～7

決算審査特別委員会…………… 8～9

常任委員会などの動き…………… 10～11

研修会報告…………… 12～13



【ひまわりの会】(11名)〔毎月第2・第4月曜日〕



【うぐいすの会】(9名)〔毎月第1・第3火曜日〕



【声乱会】(10名)〔毎週水曜日〕



【コスモスの会】(11名)〔毎月第2・第4金曜日〕

川北しらかば会カラオケ倶楽部

♣代表:古瀬 祐示郎【声乱会】会長

♥会 員:〈4愛好会〉41名

♠年会費:〈正会員〉3,000円 〈特別会員〉3,500円

◆設 立:平成26年5月1日



カラオケに興じ語り合う事を通して、健康寿命の延伸と会員相互の親睦・交流・連携を図る事を目的として活発に活動中!

発行／北海道標津町議会

編集／広報特別委員会

★今年は干支頭(えとがしら)の『子年(ねどし)』です。巡る12年の良きスタートと良き歳々である事を願います。



秋サケ漁の記録的不漁 できることを地域一丸となって対策

金澤瑛町長の行政報告



基幹産業の状況

酪農業

一番草は、昨年比べて品質の高い自給粗飼料が確保された。二番草についても、8月中旬からの天候不順により生育が若干遅れぎみとなったが、その後の天候回復により、収穫量、栄養価とも平年並みとなった。一方、生乳生産量は今年4月から11月末までの8ヶ月間で、前年同期の4%増の71,989トとなつている。生乳販売個体販売、その他牧草等の総販売額は、乳価の上昇があった一方、乳用牛・肉用牛の市場価格の減少があったが、11月末現在では前年対比3%増の78億百万円となった。しかしながら、需給バランスの影響

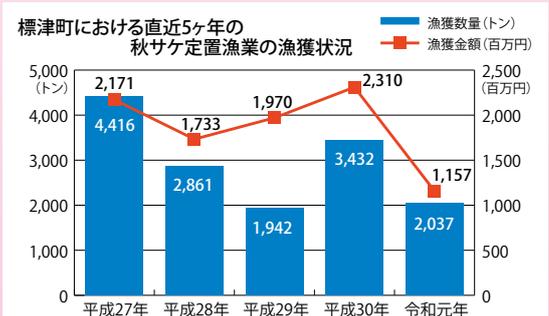
響から生産資材や輸入家畜飼料が高止まりとなつており楽観は許されない。今後はTPP（イレブン）、日欧EPA協定、来年1月1日に発効する日米の新たな貿易協定への不安並びに乳価・牛肉価格の下落の懸念などから投資意欲の後退や農業経営の継続断念など、悪影響を与えることに変慮している。

水産業

今年の秋サケ漁は、11月23日に終漁した。漁獲結果は予想をはるかに下回り、対前年の64・6%の2,296ト、漁獲尾数は対前年56・5%の71万9千尾となった。また本町の秋サケ水揚額は、対前年54・8%の13億38

0万円と、記録的大不漁となった。不漁の原因は特定されていないが、一地域にのみ不漁原因があると考えにくく、全道に影響を及ぼすような大きな原因があると想像される。そのため、有効な対策を打ち出すことは困難な状況にあるが、親魚を確保し、健康で元気な稚魚づくりが重要。町としては、健全な資源造成のために、自然産卵調査、サケ稚魚の餌料環境調査、河川環境の保全など、出来ることを地域が一丸となつて、地道に取り組んでいく。

ホタテ漁は当初の間計画4,980トに対し、夏操業を終えた段階で水揚量が3,536トで年間計画71%の達成。単価は通年で210円/kgを超える



水準で推移している。水産加工業は、水産加工用原料の確保について、前年比30%増の来遊予測が出たことを考慮した買付計画が記録的大不漁により大幅な変更を余儀なくされた。魚価は昨年より約15%下落したが、依然として高価水準にあり、水産加工業を取り巻く環境の険しさは続いており、町としてもできる限りの支援していきたいと考えている。

標津病院を 取り巻く情勢

10月22日から25日の旅程で、私と田中議長、大野院長、事務長の4人で久留米大学医学部内科学講座の星野主任教授及び外科学講座の赤木主任教授を訪問し、本町への医師派遣をお願いした。

それぞれの主任教授は国が公的病院の再編・統合の議論が必要な施設の中に根室管内では、標津病院と別海病院が含まれていることについて、非常に重く受け止めていたが、今後の本町の医療において、病院運営に対する財政支援や経営方針などを懇談させていただき、本町への医師派遣について、引き続き理解をいただいた。

一般会計の補正予算（主なもの）

（単位：千円）

項目	金額	内容
ふるさと応援基金積立金	25,526	指定寄附（ふるさと応援寄附）1,995件
冬の生活支援特別対策事業（福祉灯油）	3,749	対象者370世帯 1世帯当たり10,000円（商品券）
乳牛保育育成センター施設整備事業補助金	92,360	標津町農協子会社の(株)グリーンランド標津による保育育成センター増設に係る支援（助成）金
住宅取得支援事業（新築、中古助成） 住宅リフォーム助成支援事業	5,360	決算見込みによる助成金の追加
小学校プログラミング教育教材購入事業	2,080	川北小学校が、道教委よりプログラミング教育研究実践校に指定され、2月には管内教員を対象とした公開事業が実施されることから、事前に教材の購入
標津町学校給食センター施設整備事業	9,189	標津高校給食供用開始に伴う整備費
名誉町民逝去に伴う弔慰金等	2,650	弔慰金1,500 葬儀に対しての特別経費1,000 香典等150

意見書

○最低賃金の改善と中小企業の拡充を求める意見書

提出者

吉田

智 議員

○新たな過疎対策法の制定に関する意見書

提出者

大垣

勇 議員

標津町過疎地域

自立促進市町村計画を変更

【計画年度】平成28～令和2年度

- アイヌ文様車両整備事業を追加



車両に使用されるロゴマーク

標津町選挙管理委員等の選挙結果

任期／令和元年12月25日～令和5年12月24日

標津町選挙管理委員補充員			標津町選挙管理委員		
順位	氏名	住所	氏名	住所	
1	谷内 基悦	標津町字伊茶仁85番地	矢吹 真人	標津町字川北63番地16	
2	西山 一樹	標津町北2条西1丁目1番1号	森岡 茂	標津町北6条西1丁目1番5号	
3	長谷川 薫	標津町北7条西1丁目1番4号	佐藤 玲子	標津町字川北南1線西1番地6	
4	須田 良紀	標津町字古多糠南2線35番地1	成田 暁美	標津町南8条西1丁目4番1号	

一般質問

一般質問とは、定例会において、各議員が住民を代表して、行政全般にわたり町執行機関の政策・方針を質す事です。
単に疑問を晴らし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行の政策を、見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

町政のそこが聞きたい

令和元年第4回定例会(12月12日)で3議員が一般質問をしました。
各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

小川 悠治 議員

5ページ

- **国の病院再編・統合構想は地域の崩壊に…**
標津病院存続へ向けて
町長の意思を問う!

【厚生労働省は9月26日、全国1455の公立病院・公的病院のうち、診療実績が乏しく再編・統合の議論が必要とした424の病院名を公表した。】道内の対象病院は54施設で、標津病院の名も挙げた。



質問中の小川議員

木下 孝 議員

6ページ

- **観光は産業**
サーモンパーク附帯施設等の
総合的整備運営方針を質す!

『サーモンパーク』
の鳥瞰写真



質問中の木下議員

吉田 智 議員

7ページ

- **教育は国家百年の計**
未来を担う人材育成の為の
【標津型学習スタイル】
の取り組みを質す!

『2019年度全国学力・学習状況調査』
標津町内小学校及び中学校の調査結果を受けて…



質問中の吉田議員

サーモンパーク附帯施設等の
総合的整備運営方針を質す！



木下 孝 議員

問① サーモンハウスは昨年11月のテナント撤退後、運営事業者を公募したが、応募事業者はなかった。その要因は、築30年程経過して老朽化した施設を現況のままで募集した事にある。

当施設は、交流人口拡大の拠点である事から、大規模な改修を施し、運営再開を望む。町長の方針を質す。

答① サーモンハウスはサーモン科学館とともに観光拠点としての大きな役割を果たしている。

現在サーモンハウスの営業に対し意欲を示している事業者の申し出がある。但しまだ具体的なものではない。今後、他にも営業を希望する事業者が出てくる可能性もあることから、来年1月にも再度の公募を考えている。



運営事業者を再公募する「サーモンハウス」の外観

町としては施設を現在のまま公募するのではなく、平成3年オープン以来約30年経過した施設を思い切っ

て1年かけて改修したいと考えている。事業費は内外装合計で、概算5千万円となる。

問② ガイド協議会がサーモンハウスをDMOの観光情報基地としての利用を望んでいる。

観光は産業 であり対

外的にもサーモンパーク（ハウス）は唯一の観光交流施設といってもよい。本町が目指すDMOは構成が予想される関係団体である観光協会、エコツーリズム協議会、旅館組合、ガイド協議会に加えて行政、産業団体とかなる法人である事が今後の観光産業に大きく影響を与えると考える。又、観光の広域化が言われるが、ポー川史跡自然公園、旧国鉄の蒸気機関車及び転車台と関連する観光が一体と

なる事が重要であると考えるが、現況と展望を質す。

答② 観光で稼いで食べて行くの言うのは容易な事であるが、一度DMOを立ち上げた「失敗した」とは安易には言えない。

地域として、半年での勝負の観光は現実問題としてやっていけないの議論もまだ薄い状態である。初期段階の町の投資は必要であると認識しているが、DMOを継続して、収益事業を立ち上げてやっていけるかが課題である。継続的な援助は無い。

現在他市町村で設置されているDMOもこの問題で壁に突き当たっている。まだまだ議論を積み重ねる必要がある。又、サーモンハウスの中に観光情

報基地をという事だが、サーモンハウスの中では手狭と考えられる。そうなるも現在は見栄えの良いプレハブもあるので、そういう方法も検討しなければならぬ。

問③ 遊具施設は、マイカー客の子供達が頻りに利用されているので、より一層、安全管理に努めて頂きたい。

テント施設は、テントが破れ遊休施設となり、遊魚池は泥水化し魚の棲息確認ができない状態である。

これら附帯施設を全面的に改修すべきである。所見を質す。

答③ サーモンハウスの再開運営をする協議の中で検討して行く。
★結論として、「失われた1年」とならない様、充実した議論を重ねて行きたい。

教育は国家百年の計

未来を担う人材育成の為に
「標準型学習スタイル」
の取り組みを質す！



問 11月6日、北海道

教育委員会は小学校6年生と中学校3年生を対象に4月に実施した2019年度全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）について、北海道版結果報告を発表した。

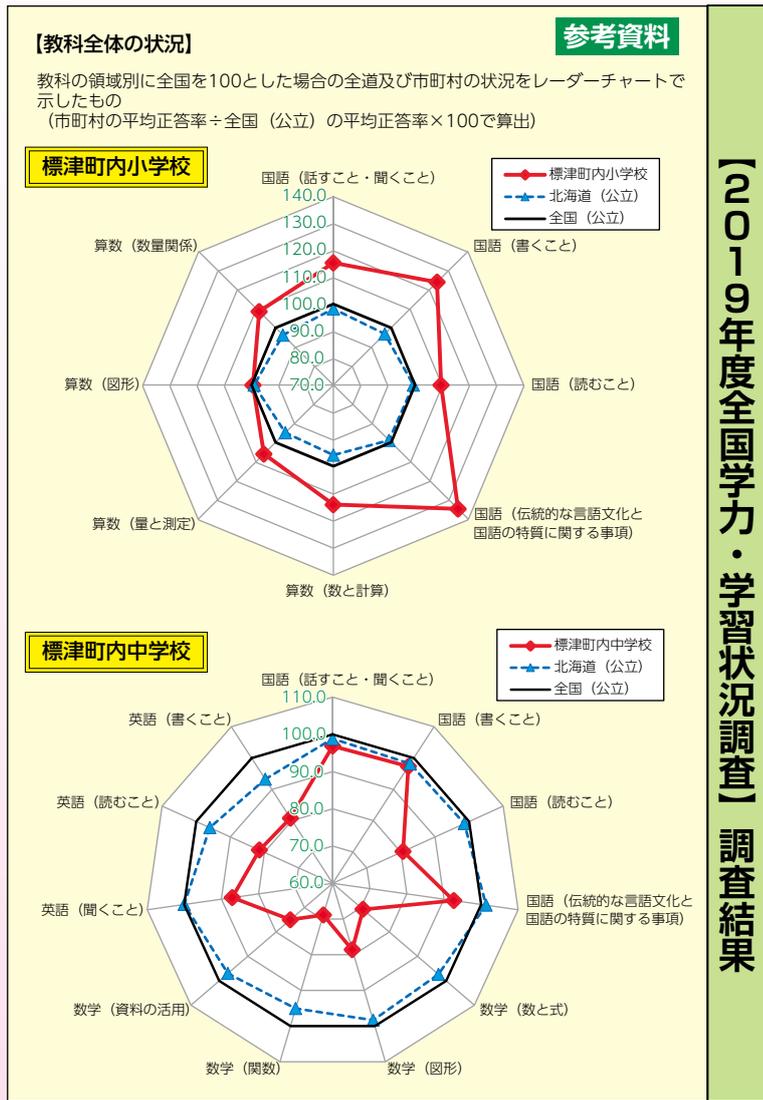
根室管内は、小中学生とも全道最下位ランクに低迷している。

標準市内小学校及び中学校の「調査結果のリーダーチャート図」



吉田 智 議員

出典：北海道教育委員会HP 一部加筆



は、参考資料の様な結果となった。小学校は、全8項目に渡り、北海道、全国

の平均正答率を上回っているが、中学校は、全11項目全てが、下回った結果となった。国語の読解力不足が数学・英語の設問解析に大きな障害になっている。

数学（英語）ができないのではなく、その問題文を理解できないのである。この傾向は本年度に限らず、ここ数年続いている。読書量、家庭学習時間の減少、反して、ソーシャルメディアに係る時間の増加等の要因が挙げられている。

巻く環境は、益々、煩雑且つ多様化している。その様な中で、未来を担う人材育成の為に「標準型学習スタイル」の取り組みを質す。

答 教育長 「チーム

根室で学力向上を！」をスローガンに取り組み、5項目の授業改善、電子メディアの「スイッチオフ22」運動を推進している。又、新学習指導要領に準拠し、
① 園小中の12年間の成長を見据えた縦連携
② 小小・中の横連携
③ 地域・家庭・社会教育・高校・大学との多面的連携
の3つの連携を深め、一貫教育を推進する。一朝一夕には行かないが、「自ら学び、考え、判断・表現し、自立の基礎を育てる」標準型学習スタイルを粘り強く創造して行く。

決算審査特別委員会

地方自治法第2条第14項

地方公共団体は、その事務を処理するに当たっては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない。

令和元年10月23日～29日

決算審査報告

決算審査特別委員会は、第3回定例会において8人の委員（議長・議員選出監査委員を除く）をもって設置され、平成30年度一般会計・特別会計、合計9会計の決算審査を付託され（大垣勇委員長・山崎英司副委員長）10月23日から29日までの審査日程を決定。今回の決算審査は『主要施策の成果等報告書』を主体とした審査とし、各施策を円滑かつ慎重な質疑応答・討論を経て10月29日総括質問を以って審査を終了、全会一致で認定決定した。

令和元年第4回定例会において大垣委員長から審査報告がなされ、各会計とも委員長報告の通り認定された。

議案番号	議案名	審査結果
認定第1号	平成30年度標津町一般会計決算	認定
認定第2号	平成30年度標津町国民健康保険特別会計(事業勘定)決算	認定
認定第3号	平成30年度標津町国民健康保険特別会計(病院事業)決算	認定
認定第4号	平成30年度標津町介護保険特別会計(事業勘定)決算	認定
認定第5号	平成30年度標津町介護保険特別会計(サービス事業勘定)決算	認定
認定第6号	平成30年度標津町後期高齢者医療特別会計決算	認定
認定第7号	平成30年度標津町簡易水道特別会計決算	認定
認定第8号	平成30年度標津町下水道特別会計決算	認定
認定第9号	平成30年度標津町金山地域休養施設等特別会計決算	認定

委員会報告

委員会審査報告書には、監査委員の審査・意見を踏まえた上で、次の意見を付して議長宛に提出した。

重要な財源である各税、各保険料、各種使用料等の収納業務について一定の評価はできるものの、滞納額の現実を視れば、住民の公平負担の原則に反するものである。公的収入金の収納確保は、健全な財政運営を執行する上で不可欠な条件である。

現年度完全収納を基本に、滞納額の解消に一層の努力をされ、滞納者の対応については個々の生活実態にに応じた、きめ細やかさが必要であり、粘り強く収納に当たりたい。

一般会計

平成30年度 まちの決算書

歳入 73億7,261万円

差引

歳出 70億5,815万円

3億1,446万円

歳出

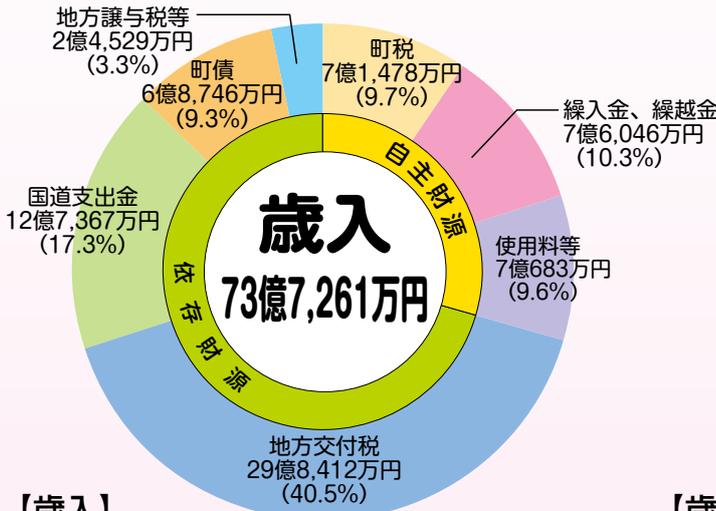
対前年比

※7.4%増

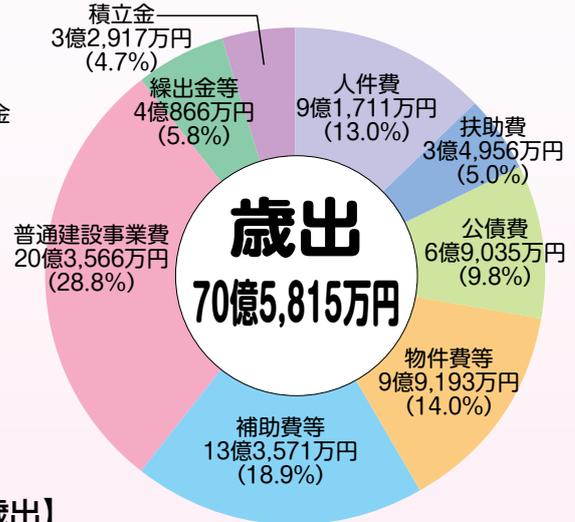
～町民力・地域力・行政力の結集によるまちづくりの推進～

※歳出増の主な要因…農業施設建設支援があった。

「財源別」内訳



「目的別」内訳



【歳入】

自主財源 21億8,207万円 (29.6%)
依存財源 51億9,054万円 (70.4%)

【歳出】

町債 = 借金

公債費 = 返済金

積立金 = 貯金

各会計 歳入・歳出決算総括表

町民1人当たりが負担する町税
13万7,803円
【参考：札幌市は16万8,248円】

町民1人当たりが受けるサービス
136万738円
【参考：札幌市は51万8,270円】

会計区分		歳入	歳出	差引
一般会計		73億7,261万円	70億5,815万円	3億1,446万円
特別会計	国民健康保険特別会計(事業勘定)	9億4,054万円	9億3,742万円	312万円
	介護保険特別会計(事業勘定)	4億1,815万円	4億1,111万円	704万円
	介護保険特別会計(サービス事業勘定)	2,921万円	2,921万円	0
	後期高齢者医療特別会計	1億2,694万円	1億2,677万円	17万円
	簡易水道特別会計	2億0,576万円	1億9,426万円	1,150万円
	下水道特別会計	2億8,762万円	2億8,755万円	7万円
	金山地域休養施設等特別会計	1,814万円	1,814万円	0
	特別会計合計	20億2,636万円	20億0,446万円	2,190万円
企業会計	国民健康保険特別会計(病院事業)	8億8,062万円	8億4,847万円	3,215万円
	資本的収支	8,983万円	8,983万円	0
	企業会計合計	9億7,045万円	9億3,830万円	3,215万円
総計		103億6,942万円	100億0,091万円	3億6,851万円

※各会計の端数処理により、合算と合計額が合わない場合があります。

常任委員会の動き

道外行政視察研修

調査期間 令和元年11月10日(日)～13日(水)

総務経済常任委員会

総務
経済

★11月10日～13日の日程で、宮城県～岩手県～青森県を視察研修。
三陸海岸水産市場視察

宮城県

① 石巻市魚市場

●全長876メートルの先進的な市場。世界三大漁場の金華山沖に近いことから24時間ほぼ休むことなく水揚げが続く。



全長876mの市場を背景に撮影

② さんさん商店街

●南三陸町の復興商店街飲食店や土産品店28軒が軒を連ねる。名前の由来は「サンサンと輝く太陽の様に笑顔とパワーに満ちた商店街にしたい！」との事である。



さんさん商店街の看板前にて

③ 宮城県漁業協同組合志津川支所

●銀ザケの養殖は、昭和51年に1経営体1生簀(いけす)から始まり、現在は60経営体の225の生簀で年間1万4千トンの生産量がある。



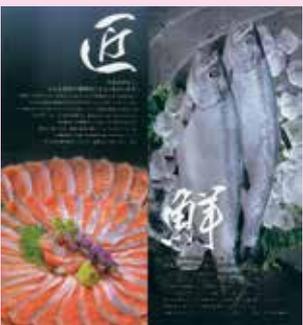
網交換作業です。1シーズンに4回です。



この管より餌が出てきます。



内水面のギンザケ稚魚池です。



養殖銀ザケは「みやぎサーモン」としてブランド展開



体長約60cm 約3kg以上育ちました。



活け作業中です。

岩手県

4 道の駅 高田松原

●震災後の岩手県陸前高田市において、地元漁協の直売所がテナントとして事業を展開している「道の駅 高田松原」。



奇跡の一本松（レプリカ）



道の駅内の広田湾漁協水産コーナー

5 大船渡市魚市場

●地元漁業の展示室と避難所を併用した大船渡市の魚市場。



大船渡市魚市場 全景（大船渡市ホームページより）



漁獲情報表示モニター



買受人用電子入札端末機器保管庫



大船渡魚市場(株)佐藤専務を囲んで

青森県

6 青森県八戸市魚市場

●青森県八戸市市場三棟からなる大きな市場です。高度衛生管理型市場はEU向けの市場として最新の設備を備えている。



震災時にここまで(赤線部)浸水した



高度衛生管理型第三市場内



光センサー魚種選別装置

研修を終えて…

●今回は水産関連を主とした視察研修で、特に感じた事は、東北地方も秋サケが年々不漁となり、南方系の鱸(サワラ)などが多くなっている。

●これらの視察先は、いずれも最新の設備で素晴らしいものであったが、それだけ東日本大震災が大きかったと痛感すると同時に、今も多くの道路や河川、堤防の工事が行われており復旧には、まだまだ時間を要する事を感じた。

研修会報告

令和元年度 根室町村議会議長会主催
議員研修会

10月12日(土) 於：標津町

当研修会は、根室管内4町の持ち回りで開催され、本年度は標津町が開催地。

根室町村議会議長会主催議員研修会
標津町で開催 議員・事務局員54名参加

10月12日(土)、根室町

村議会議長会主催の議員研修会が、本町にて開催され、関係者54名が参加。田中孝幸会長(標津町)の挨拶の後、10年以上議会議員の職に当たる議員に対し、自治功労者表彰式が行われ、左記の3議員が表彰された。



田中会長より表彰を受ける3議員
(奥より松原政勝議員・佐藤初雄議員
(共に別海町)・佐藤晶議員(羅臼町))

表彰後、村川寛海氏の講演、『旧国鉄標津線根室標津駅転車台』の視察を行った。

講演

講師

北海道町村議会議長会
事務局長

● 村川 寛海氏
むらかわ ひろみ



講演中の村川氏

【演題】

『地方議会の使命と
議会改革』

「議員報酬・議員定数のあり方」「一般質問・質疑・討論のあり方」「議会モニターの試行」等を端的に解説。

視察

視察先

● 旧国鉄標津線
根室標津駅転車台

【説明者】
標津転車台保存会会長
篠田 静男 氏



事前説明中の篠田会長



篠田会長の説明を聞く議員連



転車台上のSL『C11-224』の勇姿



SLの運転席に試乗する議員

議員連は、現地において篠田会長の熱心な説明を傾聴し、「転車台人力回転」やSLの「運転乗車」を体験し、昭和の時代にタイムスリップし標津線を懐古。

根室地方森林・林業・林産業活性化 推進議員連盟協議会(1市4町で構成)

10月31日 ~ 羅臼町内をフィールドに研修会 ~

① 海岸町の土砂崩れでは、現場の北側地域へ移動した。
その後、羅臼町議会事務局、長岡次長から平成28年8月から9月にかけての大雨等被害に関する報告と、視察場所の説明があり現地へ移動した。



熊倉重樹会長

令和元年10月31日(木) 羅臼町の「海岸町コミュニティセンター」において、根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会の研修会が行われ、管内から53名が参加、標津町議会から大垣会長、小川議員、南議員、山崎(陸)議員の4名が出席した。
主催者の熊倉重樹会長(中標津町)が挨拶。

② 8月9日、台風5号の大雨により礼文町で土



平成28年9月災害時



令和元年10月現在



平成28年8月災害時

が4日間孤立し、電気・通信が寸断され飲み水も不足した。



令和元年10月現在



平成28年9月災害時

③ 8月10日、昆布浜で土砂崩れ、29年5月31日まで通行止め。



令和元年10月現在

砂崩れ、監視員一名が巻き込まれ死亡。



11月13日の全国町村議会議長会70周年記念式典において、田中議長が永年功労表彰を授与されました。
本表彰は、30年以上の永きにわたり町村議会議員として議会活動に勤しみ、地域社会の振興発展及び住民福祉の向上に尽力した者を特別に表彰するもので、田中議長は昭和62年の就任以降、現在まで32年間町議会活動に寄与されております。

田中議長が
記念表彰

寄稿



**地域とともにある
森林管理署を目指しています**

根釧東部森林管理署 署長 三浦 学

根釧東部森林管理署の勤務は、平成18年度から20年度までの丸3年間で平成30年11月から現在までの2回目となります。10年ほど標津町を離れていましたが、水揚げ量が厳しい中、サケやホタテの配布とバターの配布が途切れることなく続いていることに、驚きながら大変美味しくいただいております。

前回勤務の時から、私が標津町の印象として感じていることに、小中学生・高校生の皆さんから受ける挨拶があります。中学生・高校生からいただく挨拶も実に丁寧でさわやかですが、小学校低学年くらいのお子さんから、立ち止まって最敬礼でたどたどしく「おはようございます」って言われてしまうとさらに挨拶

の効果を感じます。この効果は大変なもので、頭の大部分を占めていたもやもやが消えてパワーが吹き込まれる感じがします。標津町の財産として引き継いでいただきたい活動の一つです。

さて、根釧東部森林管理署ですが、根室振興局管内1市4町の国有林10万6千ヘクタールを管理しております。管内には知床半島から摩周湖に向けて連なる山岳林と平地に網目状に広がる格子状防風林などの森林があります。森林資源を活用するための事業のほか、希少な動植物の生息・生育地を保全するための森林の保護、毎日の飲み水を確保する水源林の整備や地域の生産基盤を気象害から守る防風林の管理、近年では囲いワナに

よるエゾシカの捕獲等にも取り組んでいるところです。

2019年は、ドローンを使って救助訓練に参加する機会を複数いただきました。羅臼海上保安署、根室市、標津町から依頼を受けまして、ドローンによる搜索訓練や救助訓練の撮影などを行いました。また、例年標津町と共催で実施している「子ども樹木博士認定会」でも、ドローンのデモ飛行や全天球カメラによる映像を中学生の方に見ていただきました。導入から4年目を迎えて職員の間で操作技術も向上しているところと見えます。広大な面積を管理していますので、森林調査や管理業務に今後さらなる活用が見込まれているところです。

少し宣伝になります

が、国有林のフィールドを活用して、民間団体や地方公共団体などが森林づくり体験活動を行う「協定締結による国民参加の森林づくり」という制度があります。企業の社会的責任（CSR）活動から自然観察や環境美化活動など、目的に応じた森林づくりを行うメニューとなっています。活動を計画的に実施するために、協定を森林管理署と締結していただくこととなります。この制度についてご興味がある方はご相談いただければと思います。

根釧東部森林管理署は、長い年月をかけて守られてきた森林を大切に管理し、森林の公益的機能のさらなる発揮や森林資源の安定的な供給のために、国有林にしかできない森林づくりに取り組んで参りますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

編集室



今年雪の少ない新年を迎えました。車の運転が下手な私にとつては好都合ですが、スキー場がオープンできないとか、雪まつりの雪像創りにも苦労しているところも多々あると報じられています。金山スキー場も営業の目途が立っていません。（1月10日現在）一日も早いオープンが待たれています。令和二年は標津町民にとって穏やかで活気に満ちた一年であるよう祈念しながら、広報特別委員一同『読んでもらえる』議会だより作りを心新たに努力する所存であります。

英司 陸郎
山崎 山崎
委員 委員
大垣 勇智
委員 委員
長 吉田

広報特別委員会

議 長 田中 孝幸

（大垣 勇）